

令和3年8月17日

福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部  
(事務局：保健医療介護部医療指導課)  
担当：牟田口、西川  
直通：092-643-3729 (酸素投与ステーション担当)

## 酸素投与ステーションの設置について

8月に入って、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中で、宿泊療養施設の療養者又は自宅待機者等が急激に増加しています。

現在のところ、入院治療を必要とされる方が入院できない状況にはありませんが、今後、病床使用率が大幅に増加すれば、入院調整に時間がかかり、酸素投与が必要な方が発生することが懸念されます。

そこで、症状が悪化して入院が必要となった自宅待機者等に対して、酸素投与等の処置を行う酸素投与ステーションを設置します。

### ○ステーションの機能

保健所、消防からの依頼を受け、症状が悪化して入院が必要となった自宅待機者等を一時的に受け入れて、入院先病院での態勢が整うまでの間、以下の処置を行う。

- ・ 酸素投与。必要に応じて薬の投与
- ・ 健康観察

### ○設置場所

新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関のうち、ステーションとしての活用が可能な酸素設備のあるスペースを利用できる医療機関内に設置する（現在、医療機関と協議中）。

### ○設置規模

50床程度（医療機関の確保スペースに対応）

### ○実施体制

- ・ 医師 1名
- ・ 看護師 2～5名（設置規模に応じて配置）
- ・ 事務 2名

※24時間体制で常駐

### ○設置時期

8月下旬を予定